

〔 英語ブロック【重要ランク順】オリジナル単語帳 〕

601 ㊦ **should** [シュッド] ※ should は shall の過去形 → 【単語帳 No. 595 … shall】参照。

- ㊦ ① ~すべきである
② <<shall の過去形>>

- ① **should** は shall の過去形だが、おもに現在形の文で使い、「~すべきである」の意味になる。
② 時制の一致を受けるときには、shall が過去形になって、**should** になる。

<<短縮形>> **should** not = **shouldn't**

☆ **should** を使った文はふつう、had better ~ 「~したほうがよい」を使った文と書き換えができるが、日本語訳に反して、had better ~ のほうが **should** よりも強い言い方になる。

※ had better ~ → 【No. 488 … better】

should は must 「~しなければならない」と比べても、やわらかい表現である。

→ 【単語帳 No. 588 … must】

You **should** go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行くべきだ。』

= You had better go there soon.

『あなたはすぐにそこへ行ったほうがよい。』

※ had better は **should** よりも強い表現。

Which train **should** I take to go to Osaka?

『大阪に行くには私はどの電車に乗るべきですか？』

We **shouldn't** stay here long.

『私たちはここに長く滞在すべきではない。』

☆ 時制の一致を受けるときは、shall が過去形になる。

I thought (that) I **should** [would] leave soon.

『私はすぐに出発しようと思いました。』

※ 主節の動詞が過去形(thought)なので、that の後ろの文の時制も過去形になる。

→ くわしくは、かんたん英文法【時制の一致】

602 ㊦ **if** [イフ]

㊦ もし~ならば

※ <<時・条件>>を表す副詞節の文では、未来のことも現在形で表す。

例えば、「明日雨が降ったら」という文では、未来(明日)のことも現在形を使ってあらわす。

詳しくは、かんたん英文法【接続詞 <<時・条件>>を表す副詞節】参照。

If you are busy now, I will help you. … ①

= I will help you **if** you are busy now. … ②

『もしあなたが今忙しいなら、私があなたを手伝います。』

If it rains tomorrow, we can't play tennis. … ①

= We can't play tennis **if** it rains tomorrow. … ②

『もし明日雨がふったら、私たちはテニスをする事ができません。』

☆ ①… 接続詞を文頭に使った文 / ②… 接続詞を文中に使った文

※ **if** には「~かどうか」の意味もある。

→ 【No. 729 … care】【No. 1132 … might】の例文も参照のこと。

※ **if**, because, when, after, before などの接続詞がある文では、接続詞を文頭に使った文(上記の①の文)と、接続詞を文中に使った文(上記の②の文)の2通りの英文を作ることができる。

… 接続詞が文頭にある文では、文中に、(コンマ)が必要になる。コンマによって、その接続詞の影響の範囲がわかる。

603 ㊦ **bring** [ブリング]

㊦ ~を持ってくる、連れてくる
(⇔ take 「~を持っていく、連れていく」)
→ 【単語帳 No. 140 … take】

活用 : brought [ブroot]

- brought - bringing

3単現形 : brings [ブリングス]

bring up 『(子供を)育てる、しつける』

bring back ~ 『~を持って[連れて]帰る、(持ち主などに返す)』

bring [人][物] 『[人]に[物]を持ってくる』

= **bring** [物] to [人]

※ かんたん英文法【第3文型と第4文型】参照。

Bring me the book. 『私にその本を持ってきて。』

= **Bring** the book to me.

What **brings** you here?

(→ 『何があなたをここに連れてきたのですか?』)

→ 『どうしてここに来たのですか?』

Ken was **brought up** in Tokyo. 『ケン(は)は東京で育った。』

※ 受け身[受動態]の文… 「育てられた」→ 「育った」と訳している